

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年03月29日

計画の名称	東前第二地区都市再生整備計画												
計画の期間	平成26年度 ~ 令和元(平成31)年度(6年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	水戸市												
計画の目標	大目標：緑ゆたかで安全安心快適なまちづくり 小目標1 安心安全なまちづくりの実現 小目標2 地域住民の憩いと安らぎの場の創出 小目標3 良好な住環境の整備												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,012	A	958	B	54	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H26当初)	中間目標値	最終目標値 (H31末)
1	建築行為許可件数を187件/年(H24)から355件/年(H31)に増加 土地区画整理法第76条に基づく地区内の新規住宅の着工数	187件/年	件/年	355件/年
2	地区内の未接道の土地の割合を30.6%(H24)から0%(H31)に減少 地区内における未接道の土地面積割合	31%	%	0%
3	水戸市街地方面とのアクセス性向上のため、地区内と国道51号間の往復旅行時間を70%短縮 地区内と国道51号(東前大場線との接続部)間の往復旅行時間	8分	分	3分

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
1の新規住宅の着工数及び2の未接道の土地面積割合の当初現況値は平成24年の数値														

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H26	H27	H28	H29	H30				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
道路事業	A01-001	街路	一般	水戸市	直接	水戸市	区画	改築	東前第二地区((都) 東 前原線外)	区画整理 A=40.8ha	水戸市						860		未策定	
	東前第二地区都市再生整備計画は、平成26年から平成30年度の5か年計画から、平成31年度までの6か年に変更するが、6か年にできないため、別途平成31年の計画を策定している。																			
	A01-002	道路	一般	水戸市	直接	水戸市	市町村 道	改築	(都) 東前大場線	L=168.3m	水戸市						98		未策定	
												小計						958		
												合計						958		

B 関連社会資本整備事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H26	H27	H28	H29	H30				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
道路事業	B01-001	道路	一般	水戸市	直接	水戸市	市町村 道	改築	(都)東前大場線	L=168.3m	水戸市						54		未策定	
		隣接する区画整理事業と一体的に整備することにより、区画整理地区の交通体系を確立する。																		
											小計						54			
											合計						54			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
市の事業担当課により評価を実施	令和4年3月
	公表の方法
	市ホームページ
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<p>1土地区画整理事業を施行することによって、地区内の新規住宅の着工数が増加した。</p> <p>2土地区画整理事業を施行することによって、未設道宅地が減少した。</p> <p>3土地区画整理事業を施行することによって、当該箇所へのアクセス時間が減少した。</p>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
土地区画整理事業の早期完成を目指し引き続き事業を施行していく。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	土地区画整理事業の進捗により、建築されることとなった新規住宅数	
	最終目標値	355件/年
	最終実績値	357件/年
2	土地区画整理事業の進捗による、未設道となっている土地の割合	
	最終目標値	0%
	最終実績値	10%
3	土地区画整理事業の進捗による、当該箇所へのアクセス時間	
	最終目標値	3分
	最終実績値	1分